

広島アニメーション

だより

広島メディア芸術を発信する情報誌

特集

第2回ひろフェス・ひろしまアニメーションシーズン2024開幕!!
企画充実! ころろ震わす日本&世界のアニメーションとの出会いグランプリ
受賞作品

『美しき男たち』

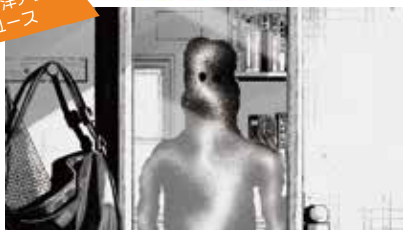
短編



長編



『シロッコと風の王国』

環太平洋アジア
ユース

『私は、私と、私が、私を、』

日本依頼作品



プチプチ・アニメ『春告げ魚と風来坊』

観客賞



『ゲロゲロ・ショー』

8月14日～18日の5日間、猛暑のなか、その暑さに負けないほどの熱量で、ひろしまアニメーションシーズン2024が開催されました。新たな試みも加わっていっそう充実したその開催内容をレポートします。

地域と時代に寄り添う力、アニメーションの未来を育てていく映画祭へ!

ひろしまアニメーションシーズンのメインとなるコンペティションでは、97の国・地域から、前回2022年の2149作品を上回る2634作品の応募があり、全76作品(短編72本・長編4本)が入選作品として選出されました。そのなかから、短編/長編/環太平洋アジアユース/日本依頼作品/観客賞のグランプリや部門賞、審査員特別賞にそれぞれ素晴らしい作品が選ばれました。コンペティション上映は一般客も鑑賞して投票できます。広島に居て、日本と世界の優れたアニメーションの評価に参加できるのは映画祭ならではの、ふだん観ることのない作品との出会いは、私たちのところを震わせ、豊かな気持ちにしてくれました。今年は長編や日本依頼作品(みんなのうた、教育番組作品やPVなど)といった新カテゴリーもできて、より親しめる映画祭になってきました。世界の長編アニメーションは日本のアニメと共通する表現もあり、それでいてその国ならではの物語であることがとても興味深い発見でした。

新たに始まったHAM(はむ/ひろしまアニメーションアカデミー&ミーティング)では、アニメーションおよび関連業界関係者・クリエイター・業界

を志す学生が出会い、語り合い、知り、学ぶ場を提供し、アニメーションの未来を作り上げる人々をつなげていく役割によって、“次世代を育てる”ひろフェスのコンセプトの一端を担い、拡張するものとなりました。

HAMプログラムには、広島針と熊野筆を使うワークショップもあり、一般観客も参加できるものもありました。アニメーション創作の道具に広島の製品をつなげる試みは、芸術と地域産業の協働でアニメーションがより広島に根づく大切な機会となりました。

主人公の故郷のモデルが珠洲市とされる「スキップとローファー」特別上映は、上映料や会場に置かれた募金箱の募金を石川県に寄付するなど、今年という状況に寄り添った企画でした。

他にも語りきれないほど充実したプログラム満載で、この映画祭が地域や時代に寄り添う力を持つものとして広島の地で育てていくよう、次回開催を楽しみに待ちたいと思います。2年後また会いましょう!

第2回ひろしま国際平和文化祭(ひろフェス)開幕!! 2年後また会いましょう!



【コンセプト】 “平和の種をまき、次世代を育てる”

【開催期間】 2024年8月1日(木)～9月1日(日)

8月7日(水)～12日(月・休)「第2回ひろしま国際指揮者コンクール」

8月14日(水)～18日(日)「ひろしまアニメーションシーズン2024」

8月17・18日(土・日)、24・25日(土・日)「ひろしまダンスコンペティション」

広島市内を中心に様々な文化イベントを実施。地域の文化団体が主催する連携・応援イベントも開催!

【会場】 JMSアステールプラザほか

公式サイト ①第2回ひろしま国際平和文化祭 <https://hiroshimafest.org/>②アニメーションシーズン2024 <https://animation.hiroshimafest.org>

※指揮者コンクールとダンスコンペティションは、①サイトメニューのリンクよりご覧ください。

①



②



特集2 今年もメディア芸術イベント充実の秋!!

ポップカルチャーひろしま2024～海外ゲストを招いてコスプレ・アニソンで国際交流! saki

10月12日(土)・13日(日)/NTTクレドホール

2017年から毎年開催しているアニソン・コスプレなどによる国際交流イベント「ポップカルチャーひろしま」。今年は新規参加国のブルガリアやモンゴルを加え、12の国や地域からゲストコスプレイヤー23名をお招きして開催しました。

初日は本通り商店街にて海外ゲストと地元コスプレイヤー合計約80名による華やかなコスプレパレードを開催。カラフルな衣装を身にまとったコスプレイヤーたちが街を歩き交う人々の目を楽しませていました。NTTクレドホールでは人気コスプレイヤーの麗華さんをコーナーMCにむかえ、海外ゲストによるコスプレパフォーマンスステージを開催。そのクオリティの高さに会場は熱気に包まれました。また、2.5次元舞台上で活躍する広島出身の俳優・木津つばささんのトークショーも開催。抽選でファンとの撮影会を行う一幕も。国内のアニソン歌唱者を対象としたカラオケコンテスト「ひろしまアニソン王」では、特別ゲストとして神園さやかさんが登場し、素晴らしい歌声で会場を沸かせました。その他アニソンコンサートや殺陣パフォーマンス、コスプレ撮影交流、書道体験など、日本文化とポップカルチャーをテーマにした多彩なコンテンツが勢揃いし、参加者たちは2日間にわたって楽しい国際交流を楽しんでいました。

海外ゲストには、おりづるタワーでのコスプレ撮影やイベント翌日のオプションツアーで宮島を訪れる機会も提供。歴史的な建造物や雄大な自然景観を堪能していました。来年もポップカルチャーを愛する全ての人々にとって、文化や親睦を深めることができる素晴らしいイベントとなることを期待しています。

- ポップカルチャーひろしま公式サイト ⇒ <http://www.pophi.jp/>
- X(旧Twitter) ⇒ https://x.com/hpc_2018
- Instagram ⇒ https://www.instagram.com/pchiroshima_2024/



フクヤマニメ7～街に出よう! アニメ&サブカルを楽しもう! それぞれの分野で楽しめる総合的アニメ&サブカルのお祭

まんが工房元氣堂BINGO 戸田幸子

10月19日(土)・20日(日)/福山駅周辺+みるくの里 各会場

10月下旬、ハロウィーンの頃、福山駅周辺では何やらコスプレした人でごった返しているという印象で定着しつつあるフクヤマニメ、7回目の今年はいにくの雨模様で当日を迎えました。駅周辺の各商業ビルでボカロ・アニソン、同人誌即売会、サブゲー、プラモ・フィギュアなどが、郊外の遊園地みるくの里でガンダム関連の様々なイベントが行われ、それぞれの会場ですらにグレードアップしたサブカルのお祭として完成度を増してきました。イベントのトリは福山城公園西側の芝生広場で影山ヒロノブさんの屋外ライブ! 皆のよく知っている曲を歌い上げ、集まったファンとの一体感のある盛り上がりとともに今年のフクヤマニメの有終の美を飾りました。

皆がそれぞれの分野で楽しめるイベントであるのと同時に、しっかりしたアニメコンペティションが核としてあるのも見どころです。イベント初日の夜、応募された66作品からノミネートされた5作品が上映され、この中からダイヤモンドグラミネーションに『稲荷鳥居のくぐり方』が、審査員特別グラミネーションに『鉄筋戦士ベクター3』が選ばれました。上映された作品は力作揃いで、海外や小学生からの応募もあり、幅の広がりがうかがえました。特に受賞した2作品はこれからのアニメーション作りの可能性を感じさせる素晴らしいものでした。大きくてレトロな雰囲気のある映画館、福山駅前シネマモードで上映されるのも応募した作家さんにとって素敵な体験になったのではないのでしょうか。フクヤマニメ、ひいてはこの国のサブカル文化の裾野の広さを実感させられました。みなさんも来年はこのコンペティションを覗いてみませんか。

- フクヤマニメ公式サイト ⇒ <https://fukuyamanime.jp/>
- X(旧Twitter) ⇒ https://x.com/fukuyama_nime
- Instagram ⇒ https://www.instagram.com/fukuyama_nime/



ダイヤモンドグラミネーション発表



横川ゾンビナイト10 10月26日(土)～27日(日)/横川駅・横川商店街一帯

ハロウィーンの横川といえばゾンビナイト!! 10回目を迎えた今年、クラウドファンディングで支援・応援を受けて開催されました。

- 横川ゾンビナイト公式サイト ⇒ <https://y-zombie.com/>

追悼 久里洋二さん

11月24日、アニメーション作家・久里洋二(クリヨウジ)さんが逝去されました。96歳。昭和30年代からアニメーション制作を始め、世界の映画祭への出品とともに、「みんなのうた」「11PM」などでの痛快な作品で私たちを楽しませてくださいました。2年に一度訪れる広島では太田川で釣りを楽しむ姿も。あの姿はもう見られない……。空の上から釣り糸を垂れておられたりして。ご冥福を。

広島国際映画祭2024片瀨須直監督プログラム

～新子、すず、なぎ子、それぞれの時代をまるごと受けとめて描く HAC 松浦妙子

11月22日(金)～24(日)/NTTクレドホール、広島市映像文化ライブラリー

毎年11月開催の広島国際映画祭は、ポジティブな力を持つ作品を上映し、映画を作るひと、観るひとの出会いを広島の地で作る映画祭です。「永久レギュラー」と呼ばれ毎年登場する片瀨須直監督。

11月23日は、10時から公開15周年を迎えた『マイマイ新子と千年の魔法』と制作中の『つるばみ色のなぎ子たち』パイロットフィルムが大画面上映され、作品についてのトーク。13時から『つるばみ色のなぎ子たち』ティーチン。片瀨作品満喫の日でした。

『マイマイ新子と千年の魔法』は、昭和30年の防府のこどもたちの日々を描いた物語で、千年前に周防守の父と共にやって来た少女・諾子(なぎこ)、後の清少納言も登場します。新子たちの日常を突然襲う事件、諾子の時代には疫病の災いが影を落とします。『この世界の片隅に』でも、すずの日に戦争が突然の悲しみをもたらします。事件、戦争、疫病、抗いようのないものに当たり前の暮らしを奪われるのは、いつの時代も、いま私たちの時代にもあると改めて思います。打ちひしがれたなかから自分を取り戻して生きていく希望、時代を超える力強い何かがあるのが片瀨作品の魅力のひとつです。それぞれの時代をまるごと受けとめて精緻に描かれると、作品世界は豊かで確固としたものになります。トークやティーチンから、歴史や古文で習ったイメージ程度で捉えていた平安時代が、そこに暮らす様々な階層の人々、なぎ子たちを実感できるものになるだろうと感じ取ることができました。制作中の映画にこんなふう寄り添えるのも、映画祭の楽しみのひとつです。



© 2009 高樹のぶ子・マガジンハウス/『マイマイ新子』製作委員会



● 映画「マイマイ新子と千年の魔法」公式サイト ⇒ <https://www.mai-mai.jp/>

● 広島国際映画祭公式サイト ⇒ <http://hiff.jp/>

● 映画「つるばみ色のなぎ子たち」公式サイト ⇒ <https://tsurubami.contrail.tokyo/>

広島こわい映画祭2024～こわいを通じて映像クリエイターを応援する映画祭

広島こわい映画祭プロデューサー・県立広島大学教授 矢澤利弘

12月7日(土)・8(日)/コジマホールディングス西区民文化センター、横川シネマ

広い意味でのこわさをテーマにした短編映画を上映する広島こわい映画祭は今回で7回目の開催となりました。最優秀賞には美濃良徳監督の『瑕疵709』、実行委員会賞には伊藤啓太監督の『さんすうのもんだい』が選ばれ、2日間の日程を終えることができました。

今回も全国から多くのゲストおよび観客の方々にお越しいただくことができました。この映画祭は県立広島大学の矢澤ゼミに所属する学生が中心となって企画・運営しています。全国から集まった約80作品をスタッフ全員が1本ずつ審査、厳正な選考を経て入選作21本を上映しました。

本年度は応援ソングをシンガーソングライターのトモ子さんに提供いただいたほか、開会式では下関市立大学アカベラサークルによるライブパフォーマンスを披露させていただくなど、音楽面での演出を強化することができました。

毎晩行われる懇親会ではゲストと観客の皆様が映画談義に花を咲かせ、また次回の映画祭での再会を約束しあっていました。

● 広島こわい映画祭公式サイト ⇒ <https://kowaieigasai.studio.site/>

● X(旧Twitter) ⇒ https://x.com/hirokowa_movie



PickUP!!

フィリピン、東ティモールから広島へ！ アニメ、ポップカルチャーで学び交流！

外務省が推進する対日理解促進交流プログラムJENESYSにて、日本語学習や日本文化(特にアニメやポップカルチャー)に関心を持つフィリピンの高校生と東ティモールの大学生・社会人が、10月22日～29日に東京と広島を訪問されました。

10月24日は、比治山大学で学生とともに日本のアニメの特徴についてのミニレクチャー、アニメーション作り、神楽部から大蛇(おろち)や神楽面に触れる体験も提供され、来日のみなさんは積極的に参加されました。学生との日本語での交流や折り鶴を折る体験では、時々言葉が分からなくても互いにフレンドリーにコミュニケーションを取り、SNSアカウント交換なども行われたそうです。

10月25日は、ポップカルチャーひろしま事務局にて、コスプレイベントの話の聴き、衣装を羽織ってのコスプレ体験ではアニメキャラのポーズを取ったりして楽しく過ごされました。アニメやコスプレが楽しめるのも平和だからこそ、国が違ってもアニメ・コスプレでの交流が平和をもたらすという学びを経験されました。

日本のアニメ・コスプレ文化は世界中で愛好されていますが、広島の地で若者同士が直接交流して、考え方の違うところ、共感できるところを共有し、文化が平和を推進する力を持つと実感できた素晴らしい交流事業でした。



★JICE 一般財団法人 日本国際協力センター⇒<https://www.jice.org/>

※プログラムを実施するJICEからHACへ問い合わせがあり、比治山大学とポップカルチャーひろしまへコーディネートしました。

◆Event Information

載せきれなかったイベント情報はカレンダー形式でHACサイトに掲載中! → <http://hac.or.jp>

●「生誕100年 川本喜八郎」特別上映会

会場: 広島市映像文化ライブラリー(広島市中区基町3-1)
 日程: 2025年1月11日(土)・12日(日)
 上映開始時間: 土曜10:30/14:00/18:00 日曜10:30/14:00
 料金: 大人510円、シニア(65歳以上)250円、高校生250円(土曜日は無料)、小中学生無料
 問合せ: 082-223-3525
<http://www.cf.city.hiroshima.jp/eizou/>
 人形アニメーション作家・川本喜八郎の短編および長編、交流の深かった岡本忠成(生誕93周年)の短編を楽しめる特別企画。1/12には川本プロダクション代表舞台挨拶、アニメーター細川晋トークがあります。

●特別展「ポケモン化石博物館」

会場: 防府市青少年科学館ソラー(山口県防府市寿町6-41)
 会期: 2024年11月9日(土)~2025年2月24日(月・振休)
 休館日: 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日、2024年12月30日(月)~2025年1月3日(金)まで休館、2025年1月6日(月)は開館、1月8日(水)は休館)
 開館時間: 9:30~17:00(入場は閉館の30分前まで)
 料金: 大人(高校生以上)800円、小中学生400円、未就学児 無料
 問合せ: 0835-26-5050(9時~17時 ※月曜日をのぞく)
<https://solar-hofu.com/news/3708>

●もしも猫展 I DREAM CATS COULD BE US.

会場: 広島県立美術館・3F企画展示室(広島市中区上職町2-22)
 会期: 2024年12月19日(木)~2025年2月9日(日)
 休館日: 月曜日、12月25日~1月1日は休館
 開館時間: 9:00~17:00(入場は閉館の30分前まで)、金曜日は19:00まで、12月19日は10:00開館
 料金: 一般1,500円、高大学生1,000円、小中学生700円
 問合せ: 082-221-6246
<https://www.hpam.jp/museum/exhibitions/もしも猫展/>

●ハイキュー!!アニメ10周年記念展 全感覚EXHIBITION

会場: NTTクレドホール(広島市中区基町6-78 基町クレド・パセーラ11F)
 会期: 2025年1月9日(木)~20日(月)
 休館日: 会期中無休
 開館時間: 10:00~18:00(最終入場17:00)
 料金: 一般・大学生・専門学生2,000円、中高生1,500円、小学生1,000円
 ※保護者1名につき未就学児1名入場無料
 問合せ: <https://business.form-mailer.jp/fms/b23076fc234586>
<https://haikyuu-anime-10th-exhibition.com/information/hiroshima>

●第8回尾道映画祭2025より

①『蒼穹のファフナー BEHIND THE LINE』上映
 会場: しまなみ交流館(尾道市東御所町10-1)
 日程: 2025年1月25日(土)
 上映開始時間: 16:30(開場16:00)
 料金: 一般1,800円、高校生以下1,300円
 ★ゲスト: 石井真(声優/主役: 真壁一騎役)、中西豪(エグゼクティブ・プロデューサー)
 ②『犬王』上映
 会場: しまなみ交流館(尾道市東御所町10-1)
 日程: 2025年1月26日(日)
 上映開始時間: 12:30(開場12:00)
 料金: 一般1,800円、高校生以下1,300円、小学生以下無料
 ★ゲスト: 湯浅政明(監督)、森山未來(声優)、亀田祥倫(総作画監督/尾道市出身/尾道市立大学卒業)
 ①②問合せ: メールinfo@o-ff.org 電話090-7445-2250 ※9:00~18:00:
 映画祭期間中を除く
<https://o-ff.org/2025/>

メディア芸術系大学・短大の卒業制作展

●第28回広島市立大学芸術学部卒業・修了作品展

会場: 広島市立大学芸術学部棟(広島市安佐南区大塚東3-4-1)
 会期: 2025年2月7日(金)~2月11日(火・祝) 休館日: 会期中無休
 開館時間: 10:00~17:00
 料金: 無料
 問合せ: 082-820-1504
<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/news/>

●比治山大学短期大学部美術科

第57回卒業制作展・第23回修了制作展
 会場: 広島県立美術館・県民ギャラリー(広島市中区上職町2-22)
 会期: 2025年1月21日(火)~1月26日(日) 休館日: 会期中無休
 開館時間: 9:00~17:00(金曜日も17:00閉場)
 料金: 無料
 問合せ: 082-229-0121
<https://www.hpam.jp/museum/gallery/index.html>

※新型コロナウイルス感染症対策のマスク着用・アルコール消毒等については各施設・主催者の要請をご確認いただき、展示・イベントを楽しみましょう。前売料金、団体料金、冬休み期間中の無料・割引について詳細は、各施設サイトを参照ください。年齢等を確認できる証明書提示を求められる場合があります。障がい者手帳等をお持ちの方は無料になる施設もあります。

比治山大学 × サニクリーン共同研究事業
 こどもたちの「未来のきもちのよい暮らし」をアニメーションで応援!

アニメや体験で学ぶ! **びかびか教室**
 きれいを体験するアニメづくり! **びかびかアート教室**

開催費用 無料
 ご希望の保育園・幼稚園など募集中心!

お問い合わせ サニクリーンアカデミー事務局(担当: 片岡)
 E-mail: info@sk-acad.or.jp Tel: 0120-01-3290

きれいにしたい。あしたのために。

サニクリーンは「レンタル」「リサイクル」などのシステムをとおり、資源の有効活用を目指し、人としげんにやさしいサービスと商品をお届けしています。

サニクリーン
 フリーダイヤル 11600 サニクリーン
 ☎ 0120-86-3290

広島新銘菓 **生もみじ**



にしき堂

発行日: 2024年12月27日 発行部数: 5000部/発行: 広島市市民局文化スポーツ部文化振興課
 編集: NPO法人広島アニメーションシティ(HAC)・松浦妙子・谷口重徳・カワサキマミ/レイアウトデザイン: カワサキマミ/題字デザイン: 岡川卓詩(名古屋芸術大学)
 【紙面についてのお問合せ】NPO法人広島アニメーションシティ事務局 〒730-0011広島市中区基町21-3 中国放送会館内

<http://hac.or.jp/> Email: hac-jimu@hac.or.jp

メディア芸術に関する情報やご意見を募集しています